

# 躍動する女子体育の風景

お茶の水女子大学歴史資料館企画展示

会期: 2020年2月28日(金)~3月8日(日) 11:30~15:30

場所: お茶の水女子大学 歴史資料館(大学本館121室、136室)

\*2020年12月までは、お申し込みいただければ、開室いたします。

入場無料



[http://archives.cf.ocha.ac.jp/tenji\\_2020/](http://archives.cf.ocha.ac.jp/tenji_2020/)

問合せ先



国立大学法人

お茶の水女子大学

図書・情報課 大学資料担当

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 E-mail:shiryo@cc.ocha.ac.jp

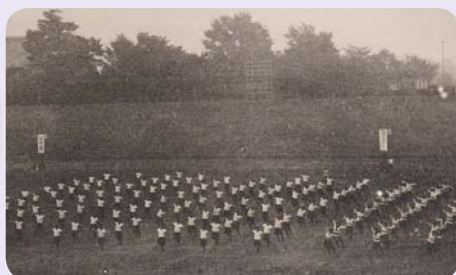
主催

お茶の水女子大学歴史資料館

アクセス

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分／東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分／都営バス「大塚2丁目」停留所下車徒歩1分

# 躍動する女子体育の風景



井口阿くりによって作られたダンス「ファウスト」



二階堂トクヨによる体操の授業を受ける生徒たち



戸倉ハル指導によるダンス授業

近代における女子体育への関心の高まりは、日本が近代国家として基盤を固める明治20年代にあり、そのことにより、体操教員の需要も増すことになりました。東京女子師範学校（本学の前身校）では、創立当初から教科の1つとして「体操」が課せられていましたが、本格的に女子体育・体操教員の育成がスタートしたと言えるのは、明治36（1903）年の国語体操専修科設置からであります。その後名称を変えながらも、各地で体育を教える女性教員を育ててきました。

授業以外では、明治24年に最初の遊戯会（運動会）が開かれ、昭和3（1928）年以降には、運動会の他に体育競技会も開かれるようになります。また、教職員と生徒の親睦会である如蘭会では各部に分かれて運動を楽しむようになります。

本展示では、それら女子体育の風景を写真資料を中心にをご紹介します。この機会に、ぜひお越し下さい。



坪井玄道と洋装の体操服を着用した生徒たち



セーラー型体操服を着用した生徒たち